

# 曹洞宗総合研究センター 第27回学術大会 プログラム

開催日 令和7年10月28日(火)～29日(水)

会場 曹洞宗檀信徒会館(東京グランドホテル)

第1部会 3階 桜の間

第2部会 3階 蘭の間

第3部会 3階 菊の間(初日のみ)

## 大会日程

|                      |        |        |          |
|----------------------|--------|--------|----------|
| 1. 開会式               | 10月28日 | 9時30分  | 桜の間      |
| 2. 近現代教団研究部門主催シンポジウム | 10月28日 | 10時    | 桜の間      |
| 3. 未来創生研究部門主催シンポジウム  | 10月28日 | 13時    | 桜の間      |
| 4. 未来創生研究部門リレー発表     | 10月28日 | 14時40分 | 桜の間      |
| 5. 個人研究発表            | 10月28日 | 15時20分 | 第1部会 桜の間 |
|                      |        | 13時    | 第2部会 蘭の間 |
|                      |        | 13時    | 第3部会 菊の間 |
|                      | 10月29日 | 10時    | 第1部会 桜の間 |
|                      |        | 9時     | 第2部会 蘭の間 |
| 6. 教化研修部門研究部海外研修報告会  | 10月29日 | 9時     | 桜の間      |

<第1日> 10月28日

第1部会 <桜の間>

午前の部(10時～12時)

### 近現代教団研究部門主催シンポジウム

#### 戦後80年における仏教教団の平和理念の再構築と実践

講演

『浄土宗戦時資料』が示唆する教団の課題

浄土宗平和協会理事長 廣瀬 卓爾

本願寺教団の戦争協力と責任及び非戦・平和の取り組み

浄土真宗本願寺派史料研究所所長 赤松 徹真

<第1日> 10月28日

第1部会<桜の間>

午後の部 (13時～14時30分)

未来創生研究部門主催シンポジウム

障害者支援の視点から「ダイバーシティ&インクルージョン」を考える  
—教団・寺院のこれまでの取り組みと、今後の可能性について—

登壇者

EARTHDAY 東京理事・NPO 法人風雷社中理事長 中村 和利  
インクルーシブ・フォレスト代表 赤池 直子  
センター客員研究員 金子 宗元  
人権擁護推進本部員 本多 清寛  
センター常任研究員 宇野 全智

第1部会<桜の間>

午後の部 (14時40分～15時20分)

未来創生研究部門リレー発表

禅林講座およびリカレント講座について

1. 禅林講座の意義について

未来創生研究部門主任 久保田 永俊

2. 現代の宗門におけるリカレント講座の意義について

センター講師 菅原 研州

第1部会<桜の間>個人発表

午後の部 (15時20分～16時40分)

3. 道元における経典引用について

愛知学院大学非常勤講師 米野 大雄

4. 孤雲懷奘の伝記史料における達磨宗

駒澤大学准教授 舘 隆志

5. 『正法眼蔵』「受戒」巻の研究

センター講師 菅原 研州

6. 瑩山禅師と「鼻端」

センター副所長 下室 覚道

<第1日> 10月28日

---

第2部会<蘭の間>個人発表

午後の部（13時～17時）

1. 「ジェンダーに関する意識調査アンケート」をめぐって

女性と仏教・関東ネットワーク 瀬野 美佐

2. 宗門寺院の法要儀礼を考える ―法要参列者と住職の意識構造の比較―

教化研修部門研修生 押見 大俊

3. 仏教界のAI活用における信頼関係の構築と共存の可能性

教化研修部門研修生 諏訪 弘史

4. 高齢者にとっての仏教寺院 ―アンケート調査から見えてくるもの―

教化研修部門研修生 天野 宏淳

5. 落語の技法を取り入れた布教教化の可能性 ―落語家のテクニックに学ぶ「伝える力」―

教化研修部門研修生 御木 賢成

6. 『在家教示法要集』にみる江戸後期曹洞宗の民衆教化

教化研修部門研修生 久峯 俊太

7. YouTubeにおける坐禅の機能的変容と多様化 ―コロナ禍前後のコンテンツ比較を通じて―

教化研修部門研究生 吉田 敏英

8. 対話型布教の可能性 一点ではなく線の布教―

山梨県宗務所人権主事 松山 典嗣

9. 禅宗の海外布教について

臨済宗妙心寺派 富岡 孝彰

10. クラウドファンディングを活用した布教教化の可能性（2）

―対面寄付を中心とした資金調達モデルの確立―

センター講師 横山 俊顕

11. 布教教化のための「全国宗派分布図」作成の試み

教化研修部門主任 関水 博道

<第1日> 10月28日

---

第3部会<菊の間>個人発表

午後の部（13時～17時）

1. 説一切有部における慧眼について

駒澤大学大学院 鳥澤 芳峻

2. 凝心について

愛知学院大学准教授 大松 久規

3. 長蘆宗頤の化主上堂について

駒沢女子大学准教授 山本 元隆

4. 慈受懷深と『慈受禅師示衆箴規』

宗学研究部門主任 小早川 浩大

5. 宝慶寺所蔵寂円頂相をめぐる諸問題

永平寺学術事業推進室主任調査研究員 長谷川 幸一

6. 仏乗慈僊の生涯 一自伝『仏乗慈僊和尚行実』および諸絵画より一

曹洞宗文化財調査委員会主事 伊藤 良久

7. 『永祖坐禅箴聞解』について

宗学研究部門専門研究員 清藤 久嗣

8. 『洞上佛祖源流影讃』における図像の系譜

駒澤大学大学院 遠藤 光賢

9. 徳巖養存著『楞伽経論疏折衷』における経典解釈の特徴

東京大学助教 佐久間 祐惟

10. 『小僧訓』における僧侶の修学について

センター常任研究員 新井 一光

<第2日> 10月29日

第1部会<桜の間>

午前の部（9時～10時）

## 教化研修部門研究部海外研修

### —ハワイ寺院の現代的役割—

報告者

教化研修部門副主任 南原 一貴

教化研修部門研究生 軽部 真生

教化研修部門研究生 吉田 敞英

第1部会<桜の間>個人発表

午前の部（10時～12時）

1. 忽滑谷快天著『The Religion of the Samurai』と1940年代イタリアの禅・武士道理解

駒澤大学大学院 Pedretti Filippo

2. 鈴木俊隆の『碧巖録』解釈に関する一考察

駒澤大学大学院 野底 稔

3. 鈴木俊隆の『正法眼蔵』「現成公案」提唱に関する一考察 —一方究尽の理を中心に—

駒澤大学大学院単位取得満期退学 千葉 聡

4. ハワイにおける曹洞宗布教と尼僧の役割 —室賀龍海の活動を中心に—

教化研修部門研究生 軽部 真生

5. 新井石禅禅師の渡布と渡米（I） —新出資料の検討から—

教化研修部門副主任 南原 一貴

6. 新井石禅禅師の偈頌と布哇巡錫

駒澤大学教授 石井 清純

<第2日> 10月29日

---

第2部会 <蘭の間>個人発表

午前の部 (9時～12時)

1. 『宝慶記』の伝播について

宗学研究部門研究員 永井 賢隆

2. 懷奘と六十巻本『正法眼蔵』 —意図的編輯説に向けての予備的考察—

宗学研究部門副主任 秋津 秀彰

3. 瑩山禅師の弟子への指導方針 —『伝光録』に見られる「請益」の用例をふまえて—

駒澤大学講師 横山 龍顯

4. 切紙資料「栄西僧正記文」について

宗学研究部門研究員 秦 慧洲

5. 正法寺蔵『栄西授経式』について

宗学研究部門研究員 務臺 宗孝

6. 瑞世考(四) —江戸期永平寺・總持寺瑞世者数—

センター講師 尾崎 正善

7. 国歌「君が代」と曹洞宗宗歌の普及について

宗学研究部門研究員 山内 弾正

8. 森田悟由『軍人禅話』と日清日露戦争

センター委託研究員 佐藤 俊晃

9. 近代曹洞宗教団と明治期民法を考える —明治・大正期の「家族制度」から—

センター講師 宮地 清彦

※プログラムは変更になる場合があります。